

## 「つろろ」塚伝説

(相生市向陽台) 長池

昔々、今の相生市向陽台のあたりに長池、

切り池、夫婦池、蓮池、北田の池、角田の池

という池がありました。中でも一番大きい

長池は三〇〇〇坪ほどの広さがあり、古池

地区の田畑をうるおすとともに、子供たちが

魚をすくったり泳いだりする遊び場にもなっ

ていました。

いつの頃からか、夕方のお月様の影が長池

の水面に映り出す頃になると、どこからとも

なく目元すずしい美少年があらわれては、ど  
ことも知らず去っていくという噂が伝わり始  
めました。

ぜひ一度会いたいとやってくる人は誰もそ  
の少年の姿を見ることはできませんでした。

ところが、日が暮れるまで仕事にはげんだ人

たちは、家への戻り道にそのなんともいえな

い気品のあるうるわしい少年に出会うことが

できたのです。その姿を見ると、一日の疲れ

もすっきりともちさってくれたのです。その

話のせいか、村人たちはそれまで以上に、朝

早くから夕方遅くまで野良仕事に精を出すよ

うになったそうです。少年は思わぬ幸せを村

に運んでくれたのでした。

また、村での話し合いも共同作業も和やかに、心豊かになり、争いも無くなってきた頃、どこで聞いてきたか誰が言い始めたのか美少年は長池の主で、昔からの言い伝えでは金の鯉は自分の姿を思い通りにできる力をもっているのです、夜な夜な陸に上っては美少年に変身しているのだという話が村中もちきりとなりました。

ある日のこと、夕方から朝にかけてたちこめていた深い霧が晴れ、池の水面があらわれ、てくると、驚いたことに池一面が血の色で覆われていました。村人が何事だと思って池をめぐってみると、水草の敷物につつまれるように豊半分ぐらいほどもあるかと思われるよ

うな金色の鯉が静かにまるで美少年が横たわっているかのような姿を見せていました。ようやく霧が晴れた朝の光に金銀の鱗の輝きかと思うほどの気高い姿を目にした村人は思わず手を合わせたということです。それから後は池の端で美少年にあった人はだれもいなかったということです。



平成 27 年羅漢の里もみじまつり  
かがしコンテストに出品した状況